

注力3領域の概要と方向性



消化器科

市場規模 (消化器科市場合計)

6,500 ~ 8,500
億円 億円

消化器内視鏡

シェア No.1

消化器科処置具

シェア No.2

消化器内視鏡
約55%

消化器内視鏡
ソリューション事業
(GIS)における
売上高割合

消化器科処置具

約15%

消化器内視鏡

当社の注力

- ・大腸がん
- ・胃がん

市場規模
3,000億円~
4,000億円
4-6% CAGR

主要な収益源

消化器内視鏡
EVIS X1システム
(ビデオスコープ含む)

成長ドライバー

EVIS X1の
グローバル展開と
ラインアップ拡充

将来の成長ドライバー

AIによる検出/診断支援
(CADE/x)による業務支援、
リモートメンテナンス

成長につながる競争力

1桁台半ばの年平均成長率
(2024年3月期~2026年3月期)

- 大腸内視鏡、上部消化管内視鏡、十二指腸内視鏡、超音波内視鏡で**70%超の市場シェア*1**
- EVIS X1が売上成長を牽引
最大7万台*2の従来モデルからの買い替え需要
- 差別化されたデジタルソリューションと柔軟なサービスモデルによる医療水準の向上、
将来的な収益機会

☑ AIをはじめとするデジタル医療ソリューションへの投資による差別化、患者さんのアウトカムや業務プロセスの改善を実現

消化器科処置具

当社の注力

- ・大腸がん
- ・肝胆膵疾患
- ・胃疾患

市場規模
3,500億円~
4,500億円
5-7% CAGR

主要な収益源

ERCP、ESD、
止血・検体採取デバイス

成長ドライバー

ESDナイフ
EndoClot*3
メタリックス Tent*3

将来の成長ドライバー

To be unveiled
シングルコース
胆道鏡*3

成長につながる競争力

1桁台後半の年平均成長率
(2024年3月期~2026年3月期)

- 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD) / 内視鏡的粘膜切除術(EMR)、ENDO CUFF VISION*3、
EndoClot*3等の製品群において2桁成長を達成
- **肝胆膵疾患**、特に内視鏡的逆行性胆道膵管造影術(ERCP)の製品群の成長に引き続き注力

☑ 新製品の導入に加え、ENDO CUFF VISION、EndoClotをはじめとする成長ドライバーとなる製品をグローバルに拡大

(注) 本ページに掲載されている対象市場規模と成長率予測は当社調べによるもので、米国、欧州主要5カ国(ドイツ、英国、イタリア、フランス、スペイン)、日本、中国に関するものです。市場規模は2025年7月31日時点のものです。成長率予測は、2025年3月期を起点とした、2026年3月期から2028年3月期までの予想です。他のページに掲載されている市場データについても同様です。消化器内視鏡ソリューション事業/サージカルインターベンション事業内のサブセグメントの売上比率は2025年3月期の数値です。

*1 公開データや当社の調査によるリユース内視鏡の市場シェア。米国、ドイツ、英国、イタリア、フランス、スペイン、日本、中国に関するものです

*2 前世代のビデオプロセッサ(CV-190、CV-290)の販売台数

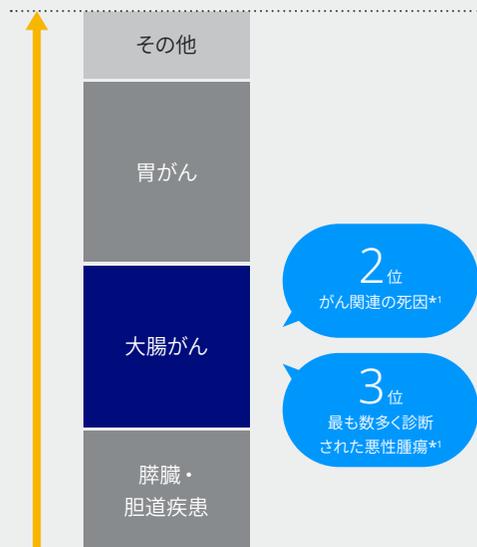
*3 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております



消化器科

疾患別市場規模 (消化器科市場合計)

6,500 億円 ~ 8,500 億円



大腸がん (CRC) のケア・パスウェイの強化

当社の取り組み

早期発見、および低侵襲手術の手技を促進し、アウトカムの改善と治療費の削減に貢献します

疾患の状況

大腸がん (CRC) はがん関連死で第2位の死因となっています*1。早期大腸がんは無症状であることが多く、早期に発見されなければ死亡率が上昇するため、効果的なスクリーニングの重要性が高まっています。また早期発見後も、開腹手術は患者さんへの負担とコストが大きいため、術後の回復期間を短縮し、医療提供者の効率性を向上させる低侵襲医療が選択肢の一つとなっています。

ソリューション



EVIS X1の先進イメージング技術と、さまざまな消化器科処置器具を組み合わせることで、大腸がんの早期発見・治療をサポートします



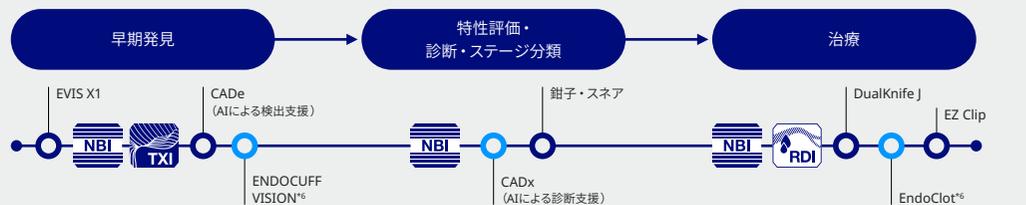
ENDO CUFF VISION*6



ENDO-AID CAD*6



EndoClot*6



ADR*2向上により、早期発見に貢献

早期がん治療および治療中・治療後の止血管理の安全性や有効性の向上をサポート

○ オリンパスの従来ソリューション ● オリンパスの新ソリューションによるアンメットニーズへの対応

オリンパスのソリューションが提供する価値



患者さん

- 早期発見：生存率の向上に貢献します
- ESD*3：DualKnife Jなどの専用処置器具を用いた早期がん治療により、術後の回復期間の短縮や患者さんの負担の軽減に貢献します
- RDIとEndoClot*6を併用することにより、術後の出血リスクの軽減をサポートします



医療提供者

- CADeやENDO CUFF VISION*6を用いることで、大腸がんによる死亡率減少効果の指標として知られる、ADR*2の向上をサポートします*4
- ESDの手技により入院期間を短縮し、医療経済にもベネフィットをもたらします*5

*1 出典：GLOBOCAN 2022

*2 Adenoma Detection Rate

*3 Endoscopic Submucosal Dissection：内視鏡的粘膜下層剥離術

*4 Corley, D. A., Jensen, C. D., Marks, A. R., et al. "Adenoma detection rate and risk of colorectal cancer and death," New England Journal of Medicine, 2014;370(14), 1298-1306.

*5 <https://medical.olympusamerica.com/endoscopic-submucosal-dissection> Patients typically experience shorter hospital stays, faster recoveries, reduced pain and less expense after ESD compared to open or laparoscopic surgical procedures. 2,3,4,5 Abdelfatah MM, Barakat M, Ahmad D, Ibrahim M, Ahmed Y, Kurdi Y, Grimm IS, Othman MO. Long-term outcomes of endoscopic submucosal dissection versus surgery in early gastric cancer: a systematic review and meta-analysis. Eur J Gastroenterol Hepatol. 2019 Apr;31(4):418-424. Doi: 10.1097/MEG.0000000000001352. PMID: 30694909. Hu J, Zhao Y, Ren M, Li Y, Lu X, Lu G, Zhang D, Chu D, He S. The Comparison between Endoscopic Submucosal Dissection and Surgery in Gastric Cancer: A Systematic Review and Meta-Analysis. Gastroenterol Res Pract. 2018 Feb 18;2018:4378945. doi: 10.1155/2018/4378945. PMID: 29670651; PMCID: PMC5835246. Draganov PV, Aihara H, Karasik MS, Ngamruengphong S, Aadam AA, Othman MO, Sharma N, Grimm IS, Rostom A, Elmunzer BJ, Jawaid SA, Westerveld D, Perbtani YB, Hoffman BJ, Schlachterman A, Siegel A, Coman RM, Wang AY, Yang D. Endoscopic Submucosal Dissection in North America: A Large Prospective Multicenter Study. Gastroenterology. 2021 Jun;160(7):2317-2327.e2. doi: 10.1053/j.gastro.2021.02.036. Epub 2021 Feb 19. PMID: 33610532. Yang D, Draganov PV. Clinical Updates in Colorectal Endoscopic Submucosal Dissection. Clin Gastroenterol Hepatol. 2022 Feb;20(2):269-271. doi: 10.1016/j.cgh.2021.09.025. Epub 2021 Nov 12. PMID: 34774551.

*6 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております



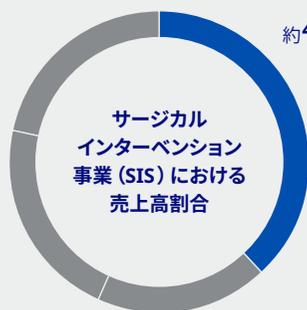
泌尿器科

市場規模 (泌尿器科市場合計)

4,900 ~ 6,000
億円 億円

シェア No.2

泌尿器科
約40%



上部尿路

当社の注力

上部尿路
(腎臓、尿管)
・尿管結石症

市場規模
2,750億円~
3,400億円
5-7% CAGR

主要な収益源



成長ドライバー



将来の成長ドライバー



成長につながる競争力

1桁台後半の年平均成長率*1
(2024年3月期~2026年3月期)

- リユース尿管鏡でトップシェア—シングルユース尿管鏡により、医師の選択肢を拡大
- レーザー/超音波結石破砕装置でシェア拡大
- ツリウムファイバーレーザー装置 (SOLTIVE SuperPulsed Laser System) とレーザーファイバーでトップシェアを確立し、医療水準の向上に貢献

☑ SOLTIVEの製品ラインアップ拡大とシングルユース尿管鏡の導入により、長期的かつ持続的な成長を見込む

下部尿路

当社の注力

下部尿路
(膀胱、前立腺)
・前立腺肥大症
・膀胱がん

市場規模
2,150億円~
2,600億円
6-8% CAGR

主要な収益源



成長ドライバー



将来の成長ドライバー



成長につながる競争力

1桁台後半の年平均成長率*1
(2024年3月期~2026年3月期)

- 膀胱鏡、レゼクトスコープ、レゼクト電極、新製品の泌尿器科用4Kカメラヘッドで市場をリードする地位を強化
- 処置時間の短縮のために設計されたPLASMA+システムの提供
- 差別化された前立腺肥大症低侵襲治療デバイスによって優れた臨床成果を提供して保険適用を拡大し、医療水準の向上に貢献*2

☑ 市場をリードするPLASMA+システムと、前立腺肥大症の低侵襲治療デバイスにより、安定的な成長を実現

(注) 本ページに掲載されている対象市場規模と成長率予測は当社調べによるもので、米国、欧州主要5カ国 (ドイツ、英国、イタリア、フランス、スペイン)、日本、中国に関するものです。市場規模は2025年7月31日時点のものです。成長率予測は、2025年3月期を起点とした、2026年3月期から2028年3月期までの予想です。他のページに掲載されている市場データについても同様です。消化器内視鏡ソリューション事業/サージカルインターベンション事業内のサブセグメントの売上比率は2025年3月期の数値です。

*1 オリンパスのサージカルインターベンション事業の泌尿器科 (婦人科製品も含む)

*2 iTindによる治療は、永久的インプラントが不要で、性能や排尿機能が維持でき、術後のカテーテル留置の必要性も低減。外来治療にも対応

*3 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております



泌尿器科

疾患別市場規模（泌尿器科市場合計）

4,900 億円 ~ 6,000 億円



前立腺肥大症 (BPH) のケア・パスウェイの強化

当社の取り組み

泌尿器科疾患に対して低侵襲治療のソリューションを提供します

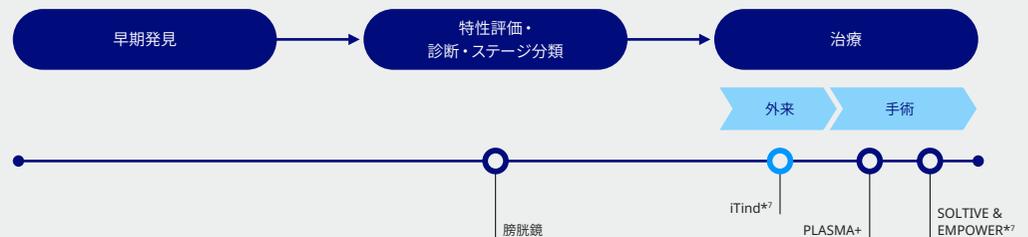
疾患の状況

前立腺肥大症 (BPH) は、前立腺が尿道を圧迫し、生活の質に深刻な影響を及ぼす慢性的かつ下部尿路にさまざまな症状を引き起こす、50歳以上の男性に多い疾患です。世界中で約1億人が罹患しており、副作用の重大なリスクにより、手術を望まない患者さんも相当数います。

ソリューション



iTind*7は前立腺肥大症の症状を迅速に緩和する*3、米国食品医薬品局 (FDA) から初めて認可された低侵襲短期型インプラントです。性機能や排尿機能の維持が可能で*3、術後のカテーテル留置の必要性を低減します*3



- オリンパスの従来ソリューション
- オリンパスの新ソリューションによるアンメットニーズへの対応

より低侵襲な
治療オプションを増やすことで、
対応可能な患者群を拡大

オリンパスのソリューションが提供する価値



患者さん

- iTind*7は性機能と排尿機能を損なうリスクを大幅に低減しながら、外来治療で症状を軽減することが臨床的に証明されています*4



医療提供者

- 2025年1月1日、米国CMS*5はiTind*7に関する新しいカテゴリー-IのCPT*6コードを発行しました
- 代替治療と比較して、症例にかかる時間および費用の削減をサポートします

*1 出典：Epi Database® Cernerに2025年7月にアクセス。米国、EU主要5カ国、日本、中国の2024年のデータ

*2 出典：BPH: surgical management—Urology Care Foundation website. <https://www.urologyhealth.org>. Updated July 2013

*3 Porpiglia et al. Second-generation of temporary implantable nitinol device for the relief of lower urinary tract symptoms due to benign prostatic hyperplasia: results of a prospective, multi-centre study at 1 year of follow-up. British Journal of Urology International. 2018.

*4 <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/30382600/> BJU Int. 2019 Jun;123(6):1061-1069. doi: 0.1111/bju.14608.Epub 2018 Nov 28

*5 Centers for Medicare & Medicaid Services

*6 Current Procedural Terminology

*7 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております



呼吸器科

市場規模 (呼吸器科市場合計)

1,300 ~ 1,850
億円 億円

シェア No.1



呼吸器科

当社の注力

- ・肺がん
- ・良性肺疾患 (COPD)

市場規模
1,300億円~
1,850億円
7-8% CAGR

成長につながる競争力

1桁台半ばの年平均成長率
(2024年3月期~2026年3月期)

主要な収益源

EBUSスコープ



EVIS X1
気管支鏡システム

成長ドライバー

EBUS-TBNA*1
吸引生検針



シングルユース
気管支ビデオスコープ*2

将来の成長ドライバー



細径EBUS
スコープ*2

- EVIS X1気管支鏡、EBUSスコープ、内視鏡用超音波観測装置EU-ME3を今後の成長ドライバーとして期待
- 気管支鏡検査および肺がんの診断とステージ分類において、患者さんのアウトカムを最適化する有意義な技術革新を提供

☑ EVIS X1の新製品効果と臨床用途を広げるEBUS製品ポートフォリオの拡充により、持続的な成長を見込む

(注) 本ページに掲載されている対象市場規模と成長率予測は当社調べによるもので、米国、欧州主要5カ国 (ドイツ、英国、イタリア、フランス、スペイン)、日本、中国に関するものです。市場規模は2025年7月31日時点のものです。成長率予測は、2025年3月期を起点とした、2026年3月期から2028年3月期までの予想です。他のページに掲載されている市場データについても同様です。消化器内視鏡ソリューション事業/サージカルインターベンション事業内のサブセグメントの売上比率は2025年3月期の数値です。

*1 Endobronchial ultrasound-guided transbronchial fine needle aspiration : 超音波気管支鏡ガイド下針生検

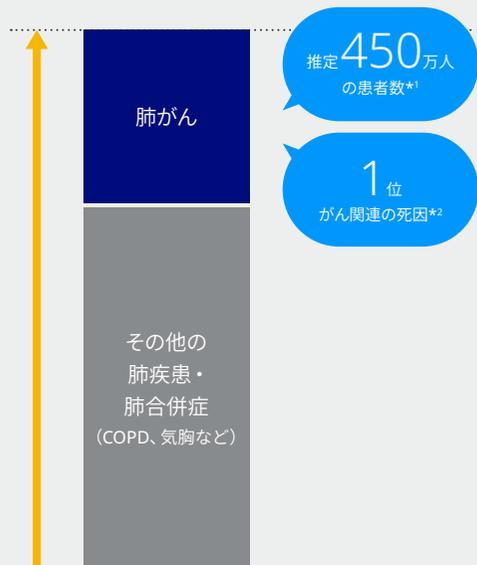
*2 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております



呼吸器科

疾患別市場規模 (呼吸器科市場合計)

1,300 億円 ~ 1,850 億円



肺がんのケア・パスウェイの強化

当社の取り組み

肺がんの早期診断と治療を進め、患者さんの予後を改善し、生存率を高めることに貢献します

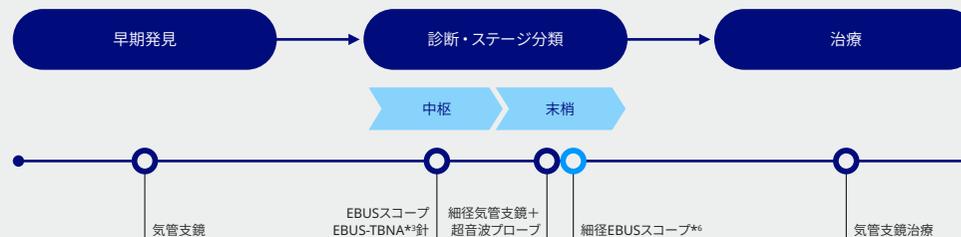
疾患の状況

肺がんは早期に発見されれば、治療の可能性が高くなります。しかし、新たに発見される肺がん病変の多くは、現在の技術ではアクセスが難しい中枢および末梢部に最初に出現するため、多くの肺結節は適切に診断されていません。また、肺がん検診へのアクセスが限られていることや、受診率の低さも、早期診断を妨げる要因となっています。そのため、多くの肺がんは治療がより困難で、死亡率が高くなる後期段階で診断されます。

ソリューション



EBUSスコープとTBNA針により、肺結節の視覚化とリアルタイムのサンプリングが可能になります。細径EBUSスコープ*6により、多くの病変が最初に発見される肺の中枢および末梢領域での組織や細胞の採取をサポートします



- オリンパスの従来ソリューション
- オリンパスの新ソリューションによるアンメットニーズへの対応

肺がんの早期発見をサポート

オリンパスのソリューションが提供する価値



患者さん

- 経胸壁アプローチと比較し、低侵襲で有害事象が少ないとされる手技です
- より多くの肺がんを早期に発見し、アウトカムが向上する可能性があります
- 気胸や入院のリスクの低減に貢献します*4



医療提供者

- 診断の信頼性向上に貢献します
- EBUSにより病変をリアルタイムに可視化し、検体の採取率が上昇します*5

*1 出典：Epi Database®.Cernerに2025年7月にアクセス。米国、EU主要5カ国、日本、中国の2024年のデータ

*2 出典：GLOBOCAN 2022

*3 Endobronchial ultrasound-guided transbronchial ne needle aspiration：超音波気管支鏡ガイド下針生検

*4 Pneumothorax rates in CT-Guided lung biopsies: a comprehensive systematic review and meta-analysis of risk factors Br J Radiol. 2020 Mar; 93(1108): 20190866

*5 As evidenced with current EBUS and EBUS-TBNA technology

*6 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております